

和歌山県・和歌山市と白浜町

中学校と小学校、4校で出前講座 4つの学校で出前講座を実施

11月26日、和歌山県白浜町の白浜町立白浜中学校2年生を対象に「船の学校紹介」として出前講座を実施した。また、同日、白浜町立白浜第一小学校と白浜町立白浜第二小学校の5年生を対象に出前講座を実施し、翌11月27日には和歌山市立有功東小学校5年生を対象に「日本と世界の貿易」として出前講座を実施した。これまで毎年、白浜町立第一・第二小学校で出前講座を開催してきたが、白浜町立白浜中学校と和歌山市立有功東小学校では初めての試みとなった。

11月26日午前中、講座を実施した白浜町立白浜中学校に在籍する2年生には、小学生の頃、出前講座と体験乗船を経験した白浜町立白浜第一・第二小学校出身の生徒もいた。

今回の出前講座は、森健輔新日本海フェリー株式会社職場委員、鈴木孝二N X海運株式会社職場委員、畑中智尋琵琶湖汽船株式会社職場委員の3人に協力していただいた。

講座では「船の学校紹介」として船員職業の重要性、国内の船員学校について講話を実施した。講話終了後、小林泰之大阪支部長が、現在の鳥羽商船高等専門学校のカリキュラムおよび寮生活について話をした後、質疑応答に移り、生徒から▽船員の給料▽船内生活や乗船期間—などについて質問があった。

11月26日午後からは、白浜町立白浜第一小学校の体育館で、白浜町立白浜第一・第二小学校5年生に出前講座を実施した。

はじめに白浜町立白浜第二小学校の生徒代表があいさつした後、講師を担当した森健輔新日本海フェリー株式会社職場委員と、鈴木孝二N X海運株式会社職場委員が「日本と世界の貿易」として講話を行った。その後の質疑応答では、児童から▽職員の仕事内容の違いについて▽船で働くにはどのようにすればいいのか—などの質問があった。特に船員の給料については児童全員が興味津々で、講師の説明に驚く様子も見られた。

最後に、白浜町立白浜第一小学校の生徒代表から、開催に対する謝意と「船舶が日常生活に重要であることが分かりとてもいい勉強になった」とあいさつがあり終了した。

11月27日は、和歌山市立有功東小学校の5年生を対象に初めての出前講座を開催した。2クラスに分かれて「日本と世界の貿易」について講座を行った後、質疑応答では▽船の種類▽船長の仕事は何があるのか—などの質問があり、とりわけ船員の給料や休暇については、関心を持って熱心に聞いていた。

最後に参加者全員に記念品を手渡し、校長先生をはじめとする教師たちからは、来年も引き続き、船と貿易に関する講座を開催していただきたいと強い要望をいただいた。

「海員だより」